

## ハッキングの仕方 (3)

今回はまず個人情報の盗み方です。個人情報といっても、不用意に掲示板に書き込んだ場合のものです。実は、よく知られていることですが、インターネットに接続するという事は、いろいろな個人情報を常に相手に教えながら使っているということがあります。つまり、個人利用であれば、どこのプロバイダに属しているかになります。これが会社からインターネットを使ってアクセスすると、どこの会社のサーバを経由しているかなどを相手に教えていることになります。ただ、普通のホームページはこれらの情報を読み取ろうとはしていないので問題はないのですが、はじめからそんな情報を集めることを目的とした掲示板ではいろいろな情報を集めることができます。インターネットは匿名性が高いものと思われがちですが、実際はいろいろな情報をページをアクセスしただけで集めることが可能なのです。ただ、会社であれば、プロキシサーバを設置することによって匿名性をあげることはできますが、

なかなかハッキング仕方といいながらそれらしい内容ではありませんでした。しかし、特に大変なプログラムでなくてもいろいろとハッキングができるものだと理解していただければいいのですが。次からはもう少し内容のあるものになればいいのですが。

では、メールによるハッキングです。よくあるのが「トロイの木馬」形のウイルスです。メールに添付ファイルとして送られてきます（送られてくるといっても、送った相手は送ったつもりのないのが普通で、ウイルスが勝手に送っているのですが）。知り合いからきたメールの添付ファイルが「.exe」であれば、ウイルスの可能性ががあります。間違ってもこのファイルを起動すると、wssock32.dllというシステムファイルやexeファイルが感染してしまいます。このwssock.dllはWindowsがインターネットなどで通信を行うときに使うプログラムのため、インターネットに接続するたびに他のexeファイルへの感染が拡大したりします。もちろん感染したexeファイルを起動することによっても感染は広がります。このときもとのウイルスプログラムは自己消滅して、証拠隠滅を図るようになっています。ではウイルスを作るにはどうするかですが、大体はVBScriptやアセンブラ言語で作られています。アセンブラ言語は、CPUの理解する命令である機械語を直接作成するもので、本格的なものを作ることができますが、それに対してVBScriptはスクリプト言語であり複雑なプログラムを作ることにはできませんが、簡単なものしか作ることができません。ただ、初心者にも作ることのできるウイルス作成ソフトを利用する方法があります。VBS Worm Toolboxなどが有名で、インターネットから簡単に入手することができます。もちろんこれらのツールはVBScriptを使用した簡単なもので、オプション機能を選択することによって自動でウイルスを作成しますが、あまり複雑なものを作ることはできず、アンチウイルスソフトで簡単に検出されてしまいます。これでは問題なのですが、アンチウイルスソフトに検出されないようなウイルスを作成するウイルス作成ソフトもあります。それはNext Generation Virus Creation Kitで、これはアセンブル言語でウイルスを自動作成します。また、感染しているのを知らないで、添付ファイルとして他のパソコンへ送ってしまっても同じ事になります。ウイルスに感染するとどうなるか。まずはWindowsのシステムファイルが書き換えられるため、動作が不安定になったり、動きが遅くなったりし、最後にはアプリケーションが起動しなかったり、パソコン自体がフリーズしたりします。 (次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 9月29日号

特集 デジカメはビデオカメラになりきれるか

→今はまだデジカメの動画機能はおまけでしかない。今年、VGAで30フレーム/秒対応のMPEG-4符号化複合化LSIが登場し状況が変わる。今後、長時間録画、ステレオ録音、SXGA対応などが進みデジカメは本物のビデオカメラになる。

解説 「中古品は儲かる」、メーカー自らパソコンのリユース事業に

→IBM、NECとパソコンメーカーが中古パソコンの事業に乗り出してきている。新品パソコンの市場頭打ちに対して、中古パソコンの販売台数は急増しているところに着目して進出した。リサイクル法の施行に伴い中古市場が活発化し始めている。

○日経パソコン 9月29日号

特集 サポートランキング2003

→パソコンのサポートランキング。1位は昨年と同じデル。2位NEC、3位エプソンと続く。上位になるほど再購入意向が強い。

特集 不要ファイル「削除」健康法

→使っていくうちに遅くなったり、ハードディスクが予想以上に空き容量がなかったりするパソコン。メンテナンスすることによって回復するかもしれない。HDDのエラー、ウィルス、アドウェアを発見、対処し、いらぬものの削除、OSやアプリケーションのアップデートなどいろいろやる方法はある。

特集 基礎から学ぶWindowsサーバ

→サーバを使っているけど基本を理解しているかどうか。基本的なサーバの動作と、各サーバ(Webサーバなど)の基本、活用法を探る。

○日経バイト 10月号

特集 OSはどこへ向かうのか

→パソコンを使う場合、実際はアプリケーションを使うわけだが、その使い勝手はOSの影響を強く受けている。現在のOSの構成要素はだいぶ前に確立されたもので、現在の環境の変化に対応しようとしている。進歩し続けているOSの今後はどこへ進もうとしているのか。

○日経システム構築 10月号

特集 開発ドキュメントの最適化

→開発した場合次へのために必要なものは開発ドキュメント。でも実際は開発期間の短縮、ビジネス変化への追従などでなかなか作っている余裕が無い。しかし、システムを開発/運用していくには欠かせない。効率化をはかって、取捨選択を行い、負荷を減らしながらドキュメントを作成していくには。

特集 XMLの功罪

→XMLはECサイトのカタログ検索や名鑑データのDB化などで利用は進んでいるが、一部で処理性能がボトルネックになってしまう場合がある。標準規格であり、応用範囲の広いXMLのうまく使うポイントはどこにあるのか。

○ASCII 10月号

特集 真のCentrinoマシンはこれだ！

→モバイルの性能と携帯性という相反する要求に対応すべく登場したCentrino。現在のノートは、CentrinoかPentiumMのどちらかのCPUを載せているといい。では真のCentrinoノートとはどれになるか

特集 ウィルスはどうやって広まるのか

→「今度こそ本気のネットワーク再入門」の特集第5弾。コンピュータウィルスは知らないうちに進入する。その感染の仕組みと対処ソフトであるセキュリティソフトの仕組みを知り、セキュリティ対策の実践を学ぶ。

○DOS/V magazine 10月15日号

特集 再エンコード完全マスタ

→たとえばテレビ画像を録画するとMPRG-2で取り込まれる。しかし、これでは容量が必要となるため、再度圧縮しなおすのが再エンコード。容量を小さくできるように設定すれば、容量は小さくなるが画像の再現性に問題が出ることもある。その兼ね合いをどうするかが今回の目的。

特集 Webブラウジングツール大全

→ブラウジングするのにちょっとあれば便利なタブブラウジングツール（複数のページを開け、タブで切り替えて表示しようとするもの）。他にも便利ツールは探せばある。使いやすさのために使ってみては。